

三度目の標柱建つ

【米子発】問題の竹島へ過去二回建てられた日本領の標柱は去月二十三日鳥取県水産試験船だいせん(四七〇)の現地調査で取り除かれていることがわかったが、境海上保安部巡視船「へくら」(四

五〇)は本庁の指令で六日朝同島を調査、東西両島に「島根県根拠部五箇村」と記した三度目の標柱を建てた。

柏境海上保安部長と島根県庁職員一名が乗込んで「へくら」は五日午後七時境港を出港、六日早朝竹島に到着、同島を一巡して付近に人影や船舶がないのを確認後ポートで上陸、標柱を建てたが前に建てた標柱のあとが掘り返えされていたという。